



秋の町民安全大会 9/30

町交通安全推進協議会（会長・酒井芳秀町長）主催の『交通事故死ゼロを目指す日』秋の町民安全大会が町公民館で開かれ、町民ら約500名が参加しました。町議会細川勝弥議長による飲酒運転撲滅宣言や町老人クラブ連合会及川泰明会長による決意宣言、マーガレット幼稚園児6名による交通安全のお約束で交通安全を誓いました。大会終了後は、国道で人の波（セーフティコール）を行い、ドライバーに安全運転を呼びかけました。



高齢者等弱者の地域見守り活動協定 9/25

町とセブン-イレブン・ジャパンは『高齢者等弱者の地域見守り活動に関する協定』を締結しました。これは、セブン-イレブンのお食事お届けサービス「セブン・ミール」と連携して、利用者の安否確認や声掛けなどを強化し、高齢者の孤立死を未然に防ぎ、安心で安全な生活の推進に寄与することを目的としています。町内に展開している5店舗が配達時に何らかの異変に気が付いた場合、町に連絡をします。また、本協定と同時進行で町内加盟店の従業員を対象とした認知症サポーター養成講座を行いました。



交通安全啓発パレード 9/18-27

9月21日から30日にかけて「秋の全国交通安全運動」が行われる中、町では『交通安全啓発パレード』が行われました。18日は、町静内交通安全協会（八木澤松雄静内支部長）主催で役員や静内高校の生徒など計52名、車両40台が参加し、静内・三石、新冠地区を巡回しました。27日は、大型バイク倶楽部「鐵馬会」（佐々木利春会長）主催で、大型バイク26台が参加し、交通安全の旗を掲げ、静内・三石地区を巡回しました。日没も早くなり、事故が起きやすいこの季節。外出には十分気を付けましょう。



まちのできごと、話題をお届けします。



町防災訓練 10/1

町防災会議による『防災訓練』が静内末広町と静内山手町、静内柏台、静内御幸町第2自治会の4地区を対象に行われ、地域住民の参加人数は過去最大の約180名となりました。訓練は、東日本大震災を踏まえ、津波を想定した避難訓練を実施。静内御幸町第2自治会では、避難先のビルに取り残された住民を想定した救出・救助訓練も行われました。参加者は、自宅から避難場所までの避難経路の確認や避難時間を把握し、万が一の事態に備えました。



三石地区青年交流ソフトボール大会 9/27

軟式野球チーム「三石協会」が主催する「三石地区青年交流ソフトボール大会」が三石旭ヶ丘運動広場にて開催され、中学生から青年まで約60名、5チームが参加しました。この大会は、三石地区の青年が一堂に会し交流を深めるとともに、スポーツを通じて、健康増進と三石地区の更なる活性化を目的としています。当日は天候にも恵まれ、大会後には親睦会も開催され、多くの交流が図られた一日となりました。



第69回シャクシャイン法要祭 9/23

シャクシャイン法要祭実行委員会（大川勝委員長）主催による『第69回シャクシャイン法要祭』が静内真歌公園で開かれ、一般参加者を含め、道内外から1000名ほどが来場し、祈りをささげました。実行委員長挨拶では、来年の70回法要祭に向け、老朽化したシャクシャイン像を建て直す計画を報告しました。法要後は、全道から保存会14団体が参加し、芸能文化交流会や懇親交流会が行われ、交流を深めました。



白寿祝状授与 9/16

金森タキさんが白寿を迎え、静内春立の自宅で酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・川越会長から記念品が贈られました。金森さんは新潟県出身で、結婚を機に約75年前に北海道へ移り住み、旦那さんの漁師の手伝いをしながら、2男・2女の子ども、11人の孫に恵まれました。現在は、一人暮らしをしながら、夜には子どもが交代で泊まりに来て、生活しています。この日は、お気に入りの着物を身につけ、写真を撮りました。



自閉症支援実践研修 9/30,10/8

『自閉症支援実践研修』が役場静内庁舎で行われ、医療・福祉・教育関係の施設に勤める職員など約90名が参加し、発達障害者支援センターのチーフコーディネーター片山智博氏による講話やグループワークを通じて、理解を深めました。



アートフラワー講座 9/29,10/6,13

町教育委員会主催の文化講座『アートフラワー講座』が三石陶芸会館で開催され、12名が参加しました。講師の指導の下、工程を3回に分けて実施し、部屋を明るくするアートフラワー作品を制作しました。



オータムフェア 9/26

静内農業高校で『オータムフェア』が開催され、生徒の手によって生産・加工された野菜やアイスなどの乳製品のほか、ゼラニウムなどの花木が販売されました。多くの来場者が大きな袋をぶら下げ、嬉しそうに帰る姿が見られました。



海投げ釣り 9/26

町教育委員会主催のわんぱくチャレンジスクール『海投げ釣り』が三石浦里海岸で開かれ、町内の小学生10名が参加しました。講師から竿の使い方などを学び、参加者全員がアブラコ等の魚を釣り上げ、釣りの魅力を体感できました。



民謡民舞全国大会出場挨拶 10/14

章静民謡三絃会に所属している山田葉月さん（静内高校2年）が昨年10月に旭川市で開催された「(公)日本民謡協会民謡民舞道北連合大会民謡コンクール青年部」で見事優勝し、全国大会への出場権を得たため、静内庁舎に来庁され、町長へ全国大会出場挨拶を行いました。

全国大会は、今年10月15日から18日までの4日間にわたって東京両国国技館で開催されました。



第40回シベチャリ駅伝大会 10/11

『第40回シベチャリ駅伝大会』（シベチャリマロン駅伝実行委員会主催）がピュア前を発着点に開かれ、小学生から一般まで43チーム、215名が出場しました。

駅伝は、年齢や過去の実績などから5クラスに分かれ、5人1チームで2kmの周回コースを1人1周走り、たすきをつなぎました。

ランナーは沿道の声援を受けながら、冷たく吹きすさぶ秋風に負けず優勝を目指し、日頃鍛えた自慢の脚とチームワークで特設コースを駆け抜けました。



第18回健康まつり 10/3

『第18回新ひだか町総合ケアセンター健康まつり』が同センターで開かれ、多くの町民でにぎわいました。

会場では、脳年齢や足指力測定などのチェックコーナーや塩分や砂糖の量が一目でわかる展示のほか、町立静内病院小松幹志院長による講演会「こころが健康であるために」が行われました。来場者は、催しを楽しんだり、展示や相談コーナーで、健康に関する不安や疑問を栄養士や介護士などの専門職員に相談し、知識を深めました。



団体の部 金賞 緑町第5自治会



個人の部 金賞 谷岡 豊子



花いっぱいコンクール表彰式 10/7

町コミュニティ運動協議会（山口俊秀会長）主催の「みんなでまちをきれいにしよう」新ひだか町誕生10年記念『平成27年度新ひだか町花いっぱいコンクール表彰式』が町公民館で開催され、全22件の応募の中から、団体の部は緑町第5自治会、個人の部は谷岡豊子さんの花壇が金賞を受賞しました。

表彰式終了後は、DCMホームック株より「マリーゴールドの植栽と管理」について講演いただき、参加者はより素敵な花壇を整備できるよう、真剣な表情で耳を傾けていました。



白寿祝状授与 10/15

佐々木コウさんが白寿を迎え、入院先の町立三石国保病院で酒井町長から祝い状、町社会福祉協議会・坂本副会長から記念品が贈られました。

佐々木さんは秋田県出身で、大夕張ミツピシ炭坑の寮に勤め、昭和9年に結婚し、2男・4女の子も、12人の孫、13人のひ孫に恵まれました。

現在は、蓬萊荘に入所しており、お寺巡りが好きな佐々木さんは、入所前まで子どもたちを訪ねながら、全国のお寺を見て回ったそうです。



タイ人モニターツアー 10/11~16

外国人受け入れ環境調査研究に関わる『タイ人モニターツアー』が6日間にわたって開催され、タイ人モニター10名が町内や管内、札幌の見学を行いました。

町内では、農業まつりや乗馬、イクラ作りを体験したり、静内高校の書道パフォーマンスの見学を行うなど、町の特産や日本の文化に触れました。

本調査は、地方創生の取り組みの一つで「新たな人の流れの創出」に向け、当町を訪れる外国人のニーズなどを把握し環境整備を行うことで、地域経済の活性化等へつなげることを目的としています。



第15回チャリティ・コンサート 10/8

プロジェクト・セブン（久米由光委員長）主催の『第15回福祉資金造成チャリティ・コンサート』が町公民館で開催されました。

喜扇会静内支部の新ひだか町音頭に始まり、全5組が出演し、ゲストで井上由美子さんが歌を披露し、素敵な歌声に会場は酔いしれていました。

また、15年間を通して、出演者は延べ25名、来場者は延べ5000名に上り、入場料は27の福祉施設や被災地に寄附したことが評価され、酒井秀秀町長より感謝状が贈呈されました。



二十間道路桜並木清掃ボランティア 10/16

静内農業高校による『桜並木清掃ボランティア』が行われ、生徒約30名が参加し、二十間道路及び静内農業高校と桜丘小学校近辺の通学路のごみが拾われ、道路がきれいになりました。



秋の地域安全キャンペーン 10/14

町防犯協会（片岡徳雄会長）主催の『秋の地域安全キャンペーン』がイオン静内店前で実施され、役員や警察署、静内農業高校の生徒が参加し、来店者へ鉢花等の啓発資材を配布し、安全を呼びかけました。



暮らしの便利マガジン調印式 10/6

『新ひだか町暮らしの便利マガジン』発行に関する調印式が役場静内庁舎で行われ、株ゼンリンと協定を締結しました。これは平成25年3月に発行された「暮らしのガイドブック」の名称を変更し、内容を充実させ、広報3月号と同時配付する予定です。



MOA美術館新ひだか児童作品展 10/3、4

MOA美術館新ひだか児童作品展実行委員会（藤沢澄雄実行委員長）主催による『新ひだか児童作品展』が町公民館で開かれ、町内の小学校や幼稚園、保育所に通う子どもたちの絵画や書道の応募作品約361点が展示され、内51点が賞を受賞しました。